

第4回橋本市自治基本条例策定委員会 会議録

会議名	第4回橋本市自治基本条例策定委員会		
日時	平成29年9月29日(金)午後1時30分～午後5時00分		
場所	橋本市教育文化会館3階第3研修室		
出席者	委員 (敬称略)	堀内 秀雄 前田 陽一郎 遠藤 和美 森川 嘉久 土田 淳子 岸田 昌章	乾 幸八 平家 利也 戸島 浩子 小林 俊治 東 美樹 野村 昌子
			西川 一弘 田村 亜美 森田 知世子 隅田 秀浩 柴田 香織 大山 善久 【出席委員：18名】
欠席者	委員 (敬称略)	堀江 佳史	山本 光子 【欠席委員：2名】
次第	1. 開会 2. 議事 (1) 第2回まちづくりタウンミーティング経過報告 (2) 自治基本条例制定までの各委員会フロー(案) (3) 小委員会からの報告 (4) その他 ・パブリックコメント及びシンポジウムの実施について ・(仮称)自治基本条例に関するアンケート(案) 3. 閉会		
資料	資料1 第2回まちづくりタウンミーティング 経過報告・アンケート集計(途中経過) 資料2 第2回まちづくりタウンミーティング 各地区ワークシートまとめ(途中経過) 資料3 自治基本条例制定までの各委員会フロー(案) 資料4 橋本自治基本条例策定委員会小委員会としての議論のまとめ (小委員会案) 資料5 パブリックコメント及びシンポジウムの実施について 資料6 (仮称)自治基本条例に関するアンケート(案)		

《次回策定委員会日程について》

- 策定委員会 平成29年11月15日(水)午後1時30分～
  - 小委員会 平成29年10月3日(火)午後1時30分～
- ※小委員会の傍聴は橋本市自治基本条例策定委員のみ可能。

## 1. 開会

(傍聴者 0人)

\*\*\*\*\*

## 2. 議事

### (1) 第2回まちづくりタウンミーティング経過報告(資料1、資料2)

地区公民館7箇所開催時点では、第1回まちづくりタウンミーティング参加者(102名)の約3倍の方に参加いただいている。今後もタウンミーティングを開催するごとに、参加人数をどんどん増やしていけるよう期待している。(委員長)

#### ●各委員タウンミーティング参加感想

- ・まだ参加人数は少ないと感じている。また、参加者に温度差がある。まだ「自分ごと」と感じる事ができていない市民の方が多いのではないか。では、策定委員としてできることはなんだろうと考える機会になった。
- ・紀見地区公民館では、中学生と中学校の先生が参加してくれた。学生や先生と意見を共有できる機会はあまりないので、有意義であった。また、同じ公民館地区でも、住んでいる場所によってかなり差があるということが感じられた。
- ・同じ橋本市でも、地域によって問題点が違うと感じた。高齢者の方は問題点がどんなものか把握されている方も多いが、「これからどうなるか」という視点においては若い方にももっと参加してほしい。
- ・地域ごとに違う問題点に対して、自治基本条例をどのように生かせるのかを考えながら参加した。また、高野口地区には市の職員が参加しており、市職員も地元と一緒に考えたことで、行政と市民の間が近くなったように感じた。
- ・まちづくりに対して積極的に意見をもらえていると思う。ただ、タウンミーティングで自治基本条例の中身のことにあまり触れられていないという意見も聞いた。
- ・タウンミーティングに参加してくれる人はまちづくりに対して志がある方ばかりだと感じた。また、紀見北地区公民館では小学生が参加してくれていたが、参政権等から考えると、参加対象を高校生以上にしてもよかったのではと感じた。

- ・小学生の参加に関しては、参加するには少し内容が難しかったのではないかと思います。ただ、大人ではなかなか思いつかないような発想もたくさん出ていた。また、公民館関係の参加者が多かったので、一般の方にももっと参加してもらえるように、広報に力を入れるべきだと思います。
- ・思っていたよりも参加者が多かったが、やはり年齢層が高かった。このタウンミーティングは、回数を重ねることで周知し、多くの人に参加してもらいたいものだと感じた。タウンミーティングに複数回参加することで、地域による違いを知ることができた。それぞれの地域によって違う意見をどうやって吸い上げて、条例に反映していけるのかという責任を感じた。
- ・「何か分からず参加したが、来てよかった」という話を聞いた。タウンミーティングは何度もやって、何度も行う中で参加者同士でも交流が生まれ、出会う場・話し合う場・新発見する場になってこそ本当の自治に繋がるのではないかと思います。今後は、もう少し対象の地域を小さくする、テーマを決めて計画的に行うなど、工夫が必要なのではないか。また、次回のタウンミーティングをどうするか参加者で考えてもいいと思う。話し合いをどうフィードバックするかを考える必要がある。
- ・周知の方法にもっと工夫の余地があったのではないか。参加者にも地域の役員が多かったように思うので、条例策定にあたっては、普段そういった場に関わる機会の少ない方にもっと参加してもらいたい工夫してもよかったのではないか。
- ・タウンミーティングで使用した資料によって、これからのまちに対する危機感が参加者に芽生えていたように感じた。
- ・ラジオ、メール、SNS等を有効活用して、もっと自治基本条例について市民の方に知ってもらいたい。
- ・行政の出前講座のような形で、自治基本条例のアナウンスをしに行ったりチラシを配ったりしてはどうか。また、公民館で地域づくり講座等を行い、策定委員もその場で話す機会を設けるなど、事務局だけでなく策定委員も周知活動を担っていければいい。
- ・自治基本条例の学習会が必要。ボトムアップで開催できるような形を目指したい。自分の地域と自治基本条例やまちづくりの関係性を明確に理解してもらいたい工夫を。
- ・行政が話すのではなく、「自分の知り合いが話す」ことで初めて理解してもらえるこ

ともある。策定委員も積極的に伝え手になりたい。

\*\*\*\*\*

## (2) 自治基本条例制定までの各委員会フロー（案）（資料3）

- 当初スケジュールでは、10月末までに条例素案の検討をし、11月頃からパブコメ、12月答申となっていたが、もう少し条例素案への議論を尽くす必要があると考え、委員長、副委員長、事務局で協議してスケジュールの見直しを行った。
- パブリックコメントは計2回実施する予定。
  - 1回目パブコメ：12月下旬～1月末（策定委員会中間素案に対するパブコメ）
  - 2回目パブコメ：市長への答申後、市の条例案に対するパブコメ
- シンポジウムをパブコメ期間中に開催（1月頃）
- 3月末までに市長への答申を行うことを予定。
- 条例は公布から施行まで周知期間を取りたい。

### （質疑・意見）

- ・スケジュールが延び、当初の予定より多く議論ができることに安心した。
- ・2回目パブコメ時、策定委員会は既に解散してしまっているのか。  
⇒策定委員会は「条例制定まで」、つまり「議会で議決されるまで」の任期になる。
- ・第2回まちづくりタウンミーティングで、条例について説明し切れていないと思うので、もっと説明を尽くす機会を設ける必要があると思う。
- ・小委員会に属していないと、策定委員として議論を満足にできないまま進んでしまっているように感じる。もっと議論できる場がほしい。
- ・「自治基本条例策定委員会」をもっと周知させたい。
- ・書面で見ても、あまり言いたいことが伝わらない。
- ・特定の時間帯に参加しづらい世代の方もたくさんいるので、どんな世代の人も行きやすい時間・場所でタウンミーティング等を行う必要がある。子育てサークルの会合に出向いて説明する等、「来てもらう」だけではなく「出向く」ことも必要。
- ・タウンミーティングで出た意見に対して、「自治基本条例ができるとうなる」というような回答を出すことで各地域にフィードバックしてほしい。
- ・教育の場で、自治基本条例の話をしてほしい。子どものときからまちづくりに関心を持てる仕組みがほしい。
- ・今すぐ完璧な条例ができるわけではないと思うので、制定してからも条例を育て、次世代へのメッセージとなるような条例にしたい。
- ・タウンミーティングやシンポジウムでは、ある程度の成案を出せるように議論に励みたい。

- ・各地区の区長と連携して、もっと多くの市民に伝わるようにしたい。

\*\*\*\*\*

### (3) 小委員会からの報告（資料4）

- 小委員会委員長（西川委員）より、資料4に沿って報告。
- 市長に答申する素案づくりを進める上で、小委員会でまずたたき台を作成した。
- 小委員会で作成したたたき台を基に、本委員会全体で議論し素案づくりを進める。

#### （小委員会委員感想・意見）

- ・自治基本条例を作るにあたって、自分たちの想いを述べ合った。行政目線ではないスパイスを盛り込めたら、という気持ちで臨んだ。条例が出来た後、行政任せではないまちづくりに発展していけるよう、自分たちもまちづくりの中心となって取り組みたいと思う。
- ・この条例があるから市民が前向きに進むことができるような、後ろ盾になれる条例になるよう取り組んだ。
- ・地域の人が、何かをやりたいとやる気になったときに、今とは違うやり方ができるルートが必要だと感じて、そこに力を入れた。
- ・市民が主体となり、市民がやる気を出したときに行政が支援する仕組みが作れたらいいと思う。また、この条例を市民が参画して作るということに意義があるのではないか。条例というと難しい言葉で書かれているので、市民にとってわかりやすい言葉で書いた条例にしたいと感じている。
- ・議論がとても充実していた。条例なのである程度硬い表現になってしまうと思うが、そこにやわらかさを出すのが我々市民の役割ではないかと思う。議会、行政、市民の三者の協働があって初めて条例制定の目的へ繋がっていくと思うので、単純な権利義務関係ではなく、三者が並列的な関係で協働し合いまちづくりを行うという理念に基づいた条例を作っていきたい。
- ・みんながやろうとやる気になれるような条例にしたい。
- ・今完璧な条例を作るのは難しいかもしれないので、今後検証や見直しを行いながら、条例をみんなですべて育てていきたいという気持ちである。

#### （策定委員意見・質疑）

- ・「自治」は人によって違うものをイメージしているのではないか。また、岡潔さんの考え方である「情緒」を橋本市民みんなが持って関わり合うことで、多様性を認め合う関係を築けるのではないかと思う。
- ・橋本市における市民自治の定義について、第2回まちづくりタウンミーティングの

ワークショップで出た意見がすごく参考になるのではないか。こういった意見をうまく反映できたらいいと思う。

市民の定義については、争点をあまり入れない方がよいのではないかと感じた。

橋本市では区や区長がどういったものか位置付けられた条例がないように思うので、区や区長についても盛り込んでもいいのでは。また、市民にとってわかりやすい仕組みづくりが今後必要になると思う。

- ・橋本市に移住してきた人にとっては、地域の活動に参加しづらい現状がある。出来るだけみんなが参加できるような仕組みがあればいいのと思う。市民一人ひとりが参画するということがとても必要だと思う。
- ・子ども用の条例のように、わかりやすい言葉を使えたらいいと思う。
- ・地域づくり組織はあるといいと思うが、その反面すごく難しいのでは。また、この条例にしても地域づくり組織にしても、みんなで育てていけるような柔軟なものになるといいと思う。
- ・橋本市が目指す姿を叶えるために市民が考えるきっかけとなればいい。また、問題を考えるきっかけになれるような、少し具体的な問題提起的条例になってもいいのではないかと感じた。
- ・市民が作った、市民協働のための条例だという意識はよくわかるが、「主権者」等といった言葉に引っかかってしまう。財政カットの口実としての自治、協働ではないというのは正にそのとおりだと感じる。市民の定義も大変難しいが、教育面でいうと、学校に通う子どもは全員市民であると考えている。地域づくり組織については、橋本市を元気にするための組織作りだとは思いますが、どういった組織を作ったらいいかという具体的なイメージが湧きづらい。市民目線での評価、レビュー組織は必要ではあるが、在りようによっては大変難しいのではないかと。
- ・住民投票は、地方自治法上は請求できる。自治基本条例に盛り込むのであれば、橋本市なりの住民投票について盛り込まなければあまり意味を成さないのではないかと。
- ・橋本市は高野口町と合併して10年経つが、まだ一体化されていないのではないかと感じる。この自治基本条例が制定された際には、橋本市が本当の意味でひとつになる方向へみんなに向かっていけるのではないかと期待している。また、条例は一般的に硬く、とっつきにくいものになってしまう。市民が見てわかるような、ある程度やわらかいものになればいいと思う。

\*\*\*\*\*

#### (4) その他

##### ①パブリックコメント及びシンポジウムの実施について（資料5）

- 平成 29 年 12 月下旬～平成 30 年 1 月末日にかけて、素案骨子のパブコメを実施予定。
- パブコメ実施期間中に、さらに多くの意見をいただくため、シンポジウムを開催予定。
- 開催時期は平成 30 年 1 月中を検討中。
- 内容は三部構成を予定。
  - ①市の協働のまちづくりに向けた取組みについての説明
  - ②(仮称)橋本市自治基本条例 素案(骨子)についての説明
  - ③質疑応答

**②(仮称)自治基本条例に関するアンケート(案)(資料6)**

- 平成 29 年 10 月下旬に、(仮称)市民満足度調査を実施予定。
- (仮称)市民満足度調査の際に、(仮称)自治基本条例に関してもアンケート調査を行い、素案骨子作成の参考とする。
- (仮称)自治基本条例に関する調査項目は、大きく分けて 3 つの要素から構成。
  - ①橋本市における(仮称)自治基本条例の取組みについて
  - ②協働のまちづくりについて
  - ③地域活動について

\*\*\*\*\*

**《今後の予定》**

- 平成 29 年 10 月 3 日(火) 13:30～ 小委員会
- 平成 29 年 10 月 16 日(月) 13:30～ 小委員会・庁内検討委員会専門部会合同開催
- 平成 29 年 11 月 7 日(火) 13:30～ 小委員会
- 平成 29 年 11 月 15 日(水) 13:30～ 第 5 回策定委員会


【会議録署名欄】

委員長

畑内秀雄



【会議録署名欄】

委員 平家利也 

【会議録署名欄】

委員

岸田昌章